
生活の場と看護 I

岩村 龍子 教授
岡本 光代 准教授
辻本 宏美 助教

1 年次後期・必修

1 単位・30 時間

【概要・目的】

人々の生活の場である地域で展開される看護について、その基本的な考え方や方法の特徴、および看護職が果たす役割について理解する。

【到達目標】

- 1) 地域における看護活動の理念や目的を説明する。
- 2) 地域における看護活動の展開の場と対象の特性、展開方法を概説する。
- 3) 地域で生活する人々の健康を支えるシステムを説明する。
- 4) 地域において看護職が果たす役割を検討する。

【内容・スケジュール】

- 1) 生活の場である地域で展開する看護とは (1)
生活とは、生活と健康との関連、生活に即した援助、地域の捉え方
- 2) 生活の場である地域で展開する看護とは (2)
地域で展開する看護の対象・目的、人々の自立・自己実現の支援、
予防と健康増進
- 3) 地域における看護活動の歴史
- 4) ~ 5) 家族を単位とした援助
- 6) ~ 7) 地域と生活との関連、地域特性のアセスメント
- 8) ~ 9) 安全な地域環境づくり (演習)
- 10) ~ 11) 学校での看護活動
- 12) ~ 13) ヘルスケアシステムの中で機能する看護
- 14) 保健所・市町村での看護活動の実際
- 15) 地域における看護職の役割

【評価】

筆記試験 (90%)、出席状況および授業・演習への参加態度など (10%) により評価する。
ただし、筆記試験は 6 割以上の得点を必要とする。

【教科書】

宮崎美砂子他編「最新公衆衛生看護学総論第 3 版」日本看護協会出版会

【推薦参考図書】

適宜紹介する

【その他】

- ・事前に教科書の該当ページを読んで履修すること。